

土呂陣屋跡(初鹿野氏館跡)(さいたま市)

とろじんやあと

築城年代:天正十八年(1590)、築城者:初鹿野信昌

土呂陣屋跡へはガソリンスタンドの右手の細い道路を進む/左手の道路は県道35号線



この前方一帯が土呂陣屋跡のようだ



右手が高台となって陣屋を形成しており、この道路は堀跡ではないかという/正面すぐの右手に折れる道を進んでみよう



この道を進むと陣屋の中心エリアとなっている



中心エリアに建つ地藏堂が見えてくる



正面が地蔵堂/左手前に説明板が立っている



初鹿野氏(はじかのし)の墓守堂として建てられたようだ

土呂とろの地蔵ぢぞう堂どう

所在地 さいたま市北区土呂町一五一〇

この地蔵堂は、地元の人のお話によると、かなり古くから、この地にあつて、村民の信仰をあつめていたといわれている。一説には、江戸時代の土呂村領主旗本初鹿野氏はじかのが近くにある同家の墓守堂として建てられたものともいわれているが、『新編武蔵野風土記稿』には「村民の持」と記されているのみで、その創建や由来については詳かでない。

地蔵堂には、現在、本尊の地蔵菩薩のほか、薬師如来、大黒天の三像が安置されている。

なお、初代初鹿野昌久は甲斐国武田の家臣であったが、主家滅亡後、徳川家康に仕え、天正十八年(一五九〇)徳川氏の関東入国に伴って土呂村の領主となったもので、この地蔵堂付近に陣屋を築き、以来幕末まで知行した。同氏が甲斐国から勧請したという御嶽社は幾度かの変遷をみて、現在隣の薄田氏屋敷内に祀られている。また、東武線南側の墓地跡には初鹿野氏の墓碑が残っている。

昭和六十年三月

さいたま市

脇にはこんな石造物が祀ってあった







ここにもさまざまな石造物がある



これは少し退いて陣屋跡を南側から北西方向に見たところ



同じく陣屋跡を南側から北方向に見たところ/右手の大きな屋敷内に説明板にあった御嶽社が祀られているようだ



これも同じく陣屋跡を南側から北東方向に見たところ/右手に工事現場とクレーンが見えるが、ここは最近までゴルフ練習場だったようだ(マンションの建設をしていた)



西側から東方向を見たところ/一帯は宅地開発が進み、正面の雑木林が当時の面影を残しているのみのようだ



南側からその雑木林を右手に見たところで、左手の高まりが土塁の名残りのようにも見える



左側から見たところ/ともかく宅地造成が進んでいる



そこからもう一度陣屋跡を北西方向に見たところ



さて、最初の堀跡と言われるところに戻って、西側から東方向へ陣屋跡の高台を見たところ/ネットフェンスとシートで覆われている



ここを右手に折れて前方に進み、先程の大きな屋敷の裏手に回ってみる/シートは木々を伐採した法面を保護するためのようだ



ブルーシートの辺りで何か行われているようだ



アップで見たところ/発掘調査のようだ



ここが大きな屋敷の裏手/高台の法面は擁壁に置き換えられてしまったようだ/左前方の建物は最近建てられた介護施設



以前、ここには雑木林と土塁が存在していたようだ



この介護施設(右手の建物)のエリアも陣屋跡とされるが、この敷地沿いに土塁跡のような高まりが見られた



少し進んで振り返って見たところ/これが出丸の土墨跡なのかもしれない



さて、陣屋跡のエリアの南東側へ進むと橋があり、薄田橋という/この川は見沼代用水路



正面が南東側から見た陣屋跡のエリア/見沼代用水路に臨む微高地上にあることが見てとれる



参考ホームページ

<http://iyokakuzukan.la.coocan.jp/002saitama/082toro/toro.html>

<http://blog.goo.ne.jp/hanako1033/e/57e0653d1a8e7190ee87d8ff8fe303ed>

http://blogs.yahoo.co.jp/lunatic_rosier/60577131.html

<http://homepage3.nifty.com/azusa/saitama/saitamasi.htm>

<http://www.geocities.jp/ikomaihigasi/saitama/torojinya.html>

<http://www.siromegu.com/castle/saitama/toro/toro.htm>

